

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	Retorograde Autologous Priming による効果の検討
研究責任者	増井浩史
研究実施体制	当院のみで実施される研究
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2024 年 9 月
対象者	2020 年 1 月～2024 年 2 月までの間に聖隷浜松病院心臓血管外科に通院または入院した待機的成人及び小児開心術患者。
研究の意義・目的	心臓血管外科手術の体外循環回路は輸液製剤を用いて充填を行う。体外循環開始直後は回路の充填輸液量により、血液希釈を起こすこととなる。そこで、Retorograde Autologous Priming (RAP) という手技により、体外循環の送血管を介して、患者から血液を脱血し、回路内の輸液製剤と患者血液の置換を行う。そうすることで、初期希釈を限りなく少なくしている。今回の研究では、RAP を行うことで希釈率を軽減させて、体外循環中や、離脱後に有用であることの検討及び報告を行う。今後は検討結果をもとに、麻酔科医師と協議しより効果的な RAP を施行したい。
研究の方法	2020 年 1 月～2024 年 2 月までの間に聖隷浜松病院心臓血管外科に通院または入院した待機的成人及び小児開心術患者。対象患者について、診療録から患者背景、血液データ、体外循環データの項目の調査をし、後向き観察研究を行なう。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 臨床工学室 増井浩史 TEL: 053-474-2222 (代表) 9:00～17:00 平日